

科目名	心理実習Ⅰ	担当教員	後藤 綾文、高村 和代	
単位	2単位	講義区分	ナンバリング	ED2SPS325
期待される学修成果	学校と社会 態度			
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク			
実務経験	臨床心理士、公認心理師			
実務経験を生かした授業内容	スクールカウンセラー、精神科病院などでの勤務の経験を活かし、心理実習の事前指導・事後指導、実習のふりかえりを行う。			
到達目標及びテーマ	子ども・若者総合支援センターならびに精神病院において見学等による実習を行い、保健医療・教育領域での施設の役割について説明できる。体験を通して、子どものこころを理解することの難しさを学び、子供の心に寄り添うために配慮すべきことについて考察することができる。			
授業の概要	本実習では、15名を上限とした少人数で実施する。事前指導で心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解を深め、実習において心理職としての職務を体感する。			

授業計画	
第1回	事前指導：心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ
第2回	事前指導：多職種連携及び地域連携
第3回	事前指導：公認心理師としての職業倫理及び法的義務
第4回	実習：子ども・若者総合支援センター（不登校児への支援）での1日見学実習
第5回	実習：子ども・若者総合支援センター（不登校児への支援）での1日見学実習
第6回	実習：子ども・若者総合支援センター（不登校児への支援）での1日見学実習
第7回	事後指導：実習を振り返っての気づき
第8回	直前指導：実習に向けての心構えおよび職業倫理の確認
第9回	実習：精神病院での見学実習（1日目）、担当教員の巡回指導
第10回	実習：精神病院での見学実習（1日目）
第11回	実習：精神病院での見学実習（1日目）
第12回	実習：精神病院での見学実習（2日目）
第13回	実習：精神病院での見学実習（2日目）
第14回	実習：精神病院での見学実習（2日目）
第15回	事後指導：実習を振り返っての気づき

事前学修	0.5時間	チーム学校ならびに精神医療について法的根拠等調べておくこと
事後学修	0.5時間	・毎回の講義内容を復習し、実習での心構えと態度を確立する。 ・事前指導終了後、実習先の見学をするので、講義と重ね合わせてイメージを高めること
フィードバックの方法	個別に対応する	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	10%	実習後に、事前指導も含めたレポート課題を提出する。
上記以外の試験・平常点評価	90%	事前指導の参加度と実習の参加度を総合的に評価する。
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	適宜紹介する。			

科目名	心理実習 II	担当教員	高村 和代、後藤 綾文
単位	2単位	講義区分	ナンバリング
期待される学修成果			
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク		
実務経験	公認心理師		
実務経験を生かした授業内容	公認心理師として、心理職に就くにあたって必要な職業への心構えや理解を深める。		
到達目標及びテーマ	家庭の事情から、児童養護施設で生活する子どもたちと実際に施設で生活を共にして、彼らの気持ちを理解し寄り添うことができる。公認心理師の福祉領域の職務を見学することにより、公認心理師としての職務内容、職業倫理について説明することができる。教育実習の経験を基に、学校との連携や地域連携の実態を理解する。		
授業の概要	事前指導で心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解を深め、実習において心理職としての職務を体感する。		

授業計画	
第1回	事前指導：心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ
第2回	事前指導：被虐待児童の病理と支援
第3回	事前指導：わが国の虐待と児童養護施設の実態
第4回	事前指導：多職種連携及び地域連携
第5回	事前指導：樹心寮(実習施設)について(外部講師)
第6回	事前指導：樹心寮の子どもたちについて(外部講師)
第7回	事前指導：樹心寮での具体的指導と職業倫理 (外部講師)
第8回	事前指導：樹心寮の見学と具体的指導を受けて、自己の実習の課題について
第9回	実習：宿泊での6泊7日の実習 (4名1グループとし、最大3グループで実施)
第10回	実習：宿泊での6泊7日の実習：児童養護施設の社会的役割の理解
第11回	実習：宿泊での6泊7日の実習：児童養護施設での生活の理解
第12回	実習：宿泊での6泊7日の実習、担当教員の巡回指導：心理職の理解
第13回	実習：宿泊での6泊7日の実習：虐待を受けた子どもの理解
第14回	実習：宿泊での6泊7日の実習：児童養護施設で生活する子どもとの関わり
第15回	事後指導：実習を振り返っての気づき

事前学修	児童養護施設について法的根拠等調べておくこと
事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の講義内容を復習し、実習での心構えと態度を確立する。</li> <li>事前指導終了後、実習先の見学をするので、講義と重ね合わせてイメージを高めること</li> </ul>
フィードバックの方法	講義内もしくはメールなどを用い、直接行う

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない。
レポート	10%	実習を終えてから、事前指導の講義を含めたレポート課題をまとめ、指定された日時に提出する。
上記以外の試験・平常点評価	90%	事前指導および実習の参加態度を総合的に評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて定義紹介する			